

叙勲・褒章 受章おめでとうございます

令和8年春の叙勲・褒章、第46回危険業務従事者叙勲受章者は4月29日付けで発令されました。市内では次の皆さんが受章されました。

令和8年春の叙勲

元北上市議会議長
八重樫 七郎 さん (79歳・立花)

平成16年から北上市議会議員を5期20年務め、令和2年からの4年間は議長として市政の発展に尽力しました。議会に関わる条例や規則など取り決めの順守を重視し、議会における秩序の維持と民主的な議会運営に注力。議長就任当初のコロナ禍では、市政を停滞させないために必要な臨時会議も柔軟に開催しました。「20年間議員をやらせてもらったが、家族や地域の人たち、周囲の支えがあつてのことで、ありがたく感謝している」と思いを述べました。

旭日双光章【地方自治功勞】



元北上市副市長
及川 義明 さん (70歳・堤ヶ丘)

昭和54年に北上市役所に入庁後35年にわたり行政事務に精励し、平成25年から11年9カ月、副市長として市政の運営に貢献しました。市職員時代は、旧北上市・和賀町・江釣子村の合併などに尽力。副市長としては市長を補佐し、行政改革を推進して将来の事業や不測の事態に備える基金の残高を一定水準まで回復させるなど、財政の基盤を築きました。受章は「勤め上げたことに対して評価いただき、光栄なこと。妻は何でも思うようにさせてくれた」と感謝しました。

瑞宝双光章【地方自治功勞】



令和8年春の褒章

キャブテンパーバー代表
鈴木 久明 さん (72歳・花園町)

昭和57年から理容師として精励し、東京都理容競技大会や東北理容競技大会のプロースカット(角刈)で優勝。椅子を倒して行う独自のカット技法を考案するなど高い技術が認められ、令和6年度「卓越した技能者(現代の名工)」に表彰されました。技能五輪全国大会優勝者の指導など後継者育成にも力を入れ、理容業界の発展に貢献。基礎であるプロースカットを大事にし、技術を磨いてきました。「家族、お客様、業界の仲間、周りの人たちには感謝しかない」と喜びを語りました。

黄綬褒章【業務精励】



令和8年春の褒章

藍綬褒章【調停委員功績】



調停委員
川村 由美子 さん (67歳・飯豊)

平成20年から調停委員の任命を受け、家事調停を中心に民事調停にも携わり、当事者同士の話し合いによる解決を支えてきました。調停では当事者の心情に寄り添うことを何よりも大切に職務を遂行。裁判所は多くの人にとって緊張する場所であるため、世間話を交えながら安心して話せる場づくりに努めてきました。受章は「私などまだまだ」と謙遜しながらも、「目の前の当事者のために向き合ってきた積み重ねが認められたと思う」と笑みを浮かべました。

第46回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章【防衛功勞】



元2等海佐
西島 顕峰 さん (69歳・大通り)

昭和48年に海上自衛隊に入隊し、39年間にわたり防衛任務に従事。主に航空機の整備員や搭乗員として、日本近海および周辺海域の警戒監視に携わり、国の安全を支えてきました。また、教育業務にも携わり、組織を内から支える側として尽力。整備員と搭乗員の両方を経験する中で、安全に任務を遂行することを一番大切にしていました。「受章は身に余る光栄。さまざまな人に支えられ、特にも妻の存在があつてこそ任務を完遂できた」と感謝を述べました。

瑞宝単光章【警察功勞】



元岩手県警部補
吉田 孝志 さん (74歳・鳩岡崎)

昭和46年に県警入りし、41年間にわたり警備部門のほか地域、警務部門で勤務し、県民の安全・安心のために尽力。警察学校初任科に在籍中、航空機墜落事故の現場に招集され、夜明けまで任務に当たりました。航空機事故で始まり、東日本大震災の対応で締めくくった警察人生は、生涯忘れられないと振り返ります。受章は「上司・先輩・同僚、家族の支えのおかげ。受章した先輩たちを見てすごいと思っていたので、自分も受章できてうれしい」と喜びをにじませました。